

### 空想旅行 ノ ススメ

暑くて長い夏が終わり、過ごしやすい季節になったなと思えば、既に北海道から雪の便りが届くという、季節感がこんがらがりそうな秋というか初冬というかな今頃ですが、ちょっとのんびりした季節にこそ非日常を楽しむ贅沢、過ごしてみませんか？  
図書館での非日常といえば、本の中での旅行。時間はたっぷりかけて、でもお金をかけず頭の中であれこれ想像しながら思い出しながらの空想旅行をご一緒に。

例えば札幌。『教授のパン屋さん』や『北海道警大通警察署シリーズ』では大通公園、札幌時計台、藻岩山などの観光地名がわんさか出てきます。『プリンセストヨトミ』は大阪の、決して有名でも観光地でもない商店街が主な舞台。ホントにこんな路地あるのかなあ？と思いつつ読み進めて、でもやっぱり大阪城は外せない！『横浜大戦争』シリーズは観光地というよりも横浜の行政区の歴史を知ることができる(?)一大スペクトル(は大袈裟)。あまり時間はかけられないけど空想旅行したい方向きには、連作短編の『ひとり旅日和』シリーズで全国津々浦々などはいかがでしょう。

身近なところでは山形市・天童市が主な舞台の『油絵は謎をささやく』、山形在住の探偵によるハードボイルド『探偵は女手ひとつ』も。事件が起きるのは県内の架空の町だったりするけど、この国道をってここを曲がって…とみると、あああの辺りかあと見当がつくのでこれまた楽し。

お話の世界に没頭するのももちろん楽しいけれど、旅行誌の地図を見て位置関係を把握しながら読み進めるのもまた一興。実際に現地に行けたときは感動もひとしおでしょう。

たまたま手に取った旅先に、想いを馳せてみませんか？



### 図書館にある「空想旅行におすすめの本」

#### ◎山形が舞台の本・山形のガイドブック 小説

- 『探偵は女手ひとつ』 深町秋生(2016)
- 『探偵は田園をゆく』 深町秋生(2023)
- 『盤上の向日葵』 深町秋生(2017)
- 『向日葵を手折る』 柚月裕子(2020)
- 『北天に楽土あり～最上義光伝～』  
天野純希(2015)
- 『さむらい道 上・下』 高橋義夫(2017)

#### ガイドブック

- 『まっぴる山形 '26』 (2025)
- 『るるぶ山形 '26』 (2025)

#### ◎県外舞台の本

- 横浜『横浜大戦争』 蜂須賀敬明(2017)
- 博多『博多さっばそうらん記』  
三崎亜記(2021)
- 函館『潮首岬に郭公の鳴く』  
平石貴樹(2019)
- 札幌『札幌アンダーソング』  
小路幸也(2014)
- 京都『京都寺町三条のホームズ』  
望月麻衣(2015)
- 奈良『鹿男あをによし』 万城目学(2007)
- 鎌倉『ビブリア古書堂の事件手帖』  
三上延(2018)

- 仙台『護られなかった者たちへ』  
中山七里(2018)
- 新潟『シンマイ!』 浜口倫太郎(2016)
- 富山『きととき夫婦旅』 柳月美智子(2022)
- 金沢『いのちの停車場』 南杏子(2020)
- 青森『津軽』 太宰治(2004)
- 岩手『銀河鉄道の父』 門井慶喜(2017)
- 福島『アポロンの嘲笑』 中山七里(2014)
- 茨城『夜のピクニック』 恩田陸(2004)
- 群馬『クライマーズ・ハイ』  
横山秀夫(2003)
- 三重『神去なあな日常』  
三浦しをん(2009)

令和7年11月1日  
鶴岡市立図書館  
鶴岡市郷土資料館  
〒997-0036  
鶴岡市家中新町 14-7  
TEL (図)25-2525  
(郷)25-5014  
FAX 25-2526



やまびこ号の次回巡回日は

月 日です



11月の新着案内



リクエスト・予約開始は 11月14日(金) です

◎小説・エッセイ

- みちゆくひと (彩瀬 まる)
- 濱地健三郎の奇かる事件簿(有栖川 有栖)
- キャベツ炒めに捧ぐリターンズ(井上 荒野)
- 私たちに残されたわずかな永遠 (乾 緑郎)
- 真珠配列 (岩井 圭也)
- マザーアウトロウ (金原 ひとみ)
- 今日もスープを用意して (加藤 千恵)
- 宙色のハレルヤ (窪 美澄)
- 命の横どり (久坂部 羊)
- 石刻師リョウ (雲井 耕)
- 名探偵にさよならを (小西 マサテル)
- 梧桐に眠る (澤田 瞳子)
- 砂上の王国 (坂井 のどか)
- 百日と無限の夜 (谷崎 由依)
- 研修生 (多和田 葉子)
- 図書館の魔女 霊ける塔 (高田 大介)
- 鳥たちの横切る空 (辻 邦生)
- 地上の楽園 (月村 了衛)
- 天上の火焰 (遠田 潤子)
- 水は動かず芹の中 (中島 京子)
- 死んだら無になる (西村 亨)
- さよならの保険金 (額賀 滯)
- 十字屋敷のピエロ (東野 圭吾)
- 女王さまの休日 (古内 一絵)
- 口訳太平記 (町田 康)
- 彼女たちは楽園で遊ぶ (町田 そのこ)
- デモクラシーのいろは (森 絵都)
- ハレーション (森沢 明夫)
- 登山大名 上・下 (諸田 玲子)
- 三頭の蝶の道 (山田 詠美)
- 桜のかき揚げ (山口 恵以子)

◎実用書

- 13歳からの哲学的思考 (星 友啓)
- 荻生徂徠の世界 (澤井 啓一)
- お悩み相談そんなこともアラナー (ヨシタケ シンスケ)
- 世界食物神話 (篠田 知和基)
- 逃げ続けたら世界一周していました (白石あづさ)
- るるぶ温泉&宿東北 [2025]
- 田舎の思考を知らずして、地方を語ることなかれ(花房 尚作)
- 北方領土を知るための63章 (名越 健郎)
- 社会は、静かにあなたを「呪う」 (鈴木 祐)
- 家族になろうね (奥田 哲平)
- ホームレス文化 (小川 てつお)
- Tシャツの日本史 (高畑 鎌名)
- 江戸でバイトやってみた。寛政期編 (櫻庭 由紀子)
- 習慣と脳の科学(ラッセル・A. ポルドラック)
- 意識を失ったとき予防と対応図鑑(加藤庸子)
- がんが気になったら読む本 (佐谷 秀行)
- 電子工作入門以前 (後閑 哲也)
- カッコいいジャケットを作る (香田 あおい)
- 一品で完結! 炊き込みごはん (岩崎 啓子)
- スコーン研究所 (小関 由美)
- ヒトミさんの恋 (益田 ミリ)
- 師匠はつらいよ 2 (杉本 昌隆)
- いい文章 (阿部 紘久)
- 作文ぎらいのための文章教室 (飯田 一史)
- 短歌のガチャポン、もう一回 (穂村 弘)
- 夏井いつきの「凡人俳句」からの脱出 (夏井 いつき)

◎児童書

- 未来をつくるひみつ (大月 マナ)
- みんなが知りたい! 怪異のすべて (怪異現象研究会)
- ガラス (セシル・ジュグラ)
- どくのあるいきもの (船山 信次)
- 世界一やさしい脳科学入門 (毛内 拓)
- はじめての船ずかん
- 耐火物のひみつ (水木 繁)
- ◎絵本
- しんしんゆきのふるばんに (あべ 弘士)
- いぬさんなんのぎょうれつ?(オームラトモコ)
- ねこがしんぱい (角田 光代)
- きれてる (鈴木 のりたけ)
- あおいことり (たての ひろし)
- ミッケ! 9 (ウォルター・ウィック)
- クリスマスセブン (もとした いづみ)

=先月結果発表された賞=

ノーベル文学賞

受賞

クラスナホルカイ・ラースロー

ハンガリーの小説家。世界各地を旅して得たインスピレーションをもとに作品を生み出している。京都を舞台にした小説『北は山、南は湖、西は道、東は川』(2003)のみ早稲田みか訳で2006に邦訳出版されていた。(現在絶版・鶴岡市立図書館に所蔵なし)

受賞歴の日本の作家

大江健三郎・川端康成

新着図書は右記以外にもありますので、お気軽にお声がけください。新刊は、ホームページでもご覧いただけます。

